

トーキイベントに31人来場

吉良康矢さんと
粕谷智美さん

ウガンダへの思い語る



ウガンダを語る吉良さん(左端)=鋸南

鋸南町保田の「鋸南エアルボルト」でこのほど、「ウガンダはどうなんところ」と題したトークイベントが開催され、町内外から31人が来場した。

アフリカ・ウガンダの路上風景を空想して予約した来場者にはさんがウガンダへの思いを語った。

吉良康矢さんと安房文化遺産フォーラムの粕谷智美さんは、個展会場で吉良さんと安房文化遺産館一筆書きで描いた、館工房「ボラリスト」によるポットデリバリーの抽出したてのウガンダコーヒーが提供された。

開場時に、珈琲焙煎(コー・ヒー・ばいせん)のJRC(青少年赤十字)部が引き継いでいる。ウガンダの子どもたちは小学校が義務教育になったが、卒業する前に家庭の都合で中退してしまう子が多いこと、今年はコロナウイルスの影響でいつそ修学旅行の事前学習みたいに楽しめた。粕谷さんは「これまでウガンダの視察報告会を何度もやってきたが、どうしても活動の経緯や現地でどのように活動が行われているかに終始しがちだった。今回は吉良さんのイラストを解説してウガンダの魅力を十分伝えることができた」と感想述べた。

吉良さんは「行って吉良さんによく話すのはやさしいけど、本当に行ったことがないのを話し続けたことのないウガンダへ行つたことがあるよ」とがんばって吉良さんは「行つたことは難しかった。スライドではインターネットの地図サービスを使わないと課題として、空想で描いたイラストと手づくりの

地図を準備したので、知らない世界を知り、親しみをおぼえるのはまさに旅と平和的な行為みたいに楽しめた」。粕谷さんは「これまでウガンダの視察報告会を何度もやってきたが、どうしても活動の経緯や現地でどのように活動が行われているかに終始しがちだった。今は吉良さんのイラストを解説してウガンダの魅力を十分伝えることができた」と感想述べた。

吉良康矢さんの個展は8日まで、鋸南エアルボルトで開催中。会場は、施設開放時間の午後2時まで開館。土曜日の臨時開館もあ

る。吉良康矢さんの個展平日の午前10時から午後2時まで開館。土曜日の臨時開館もあ

る。吉良康矢さんの個展平日の午前10時から午後2時まで開館。土曜日の臨時開館もあ

房日新聞